

「デジタル鏡餅」

坂口 裕靖

今まで使ってた7インチのタブレットがだいぶくたびれたのと、最近タッチパネルが応答しない頻度が高くなってきたため、新しいタブレットを買いに行ってきました。通勤経路の池袋北口のビックカメラ（今度楽天と一緒にになるらしいですが、そうしたら顧客情報や購買履歴とか、片っ端から吸い上げられちゃうんでしょうなあ... それとも、オプトインしてないから大丈夫なのかしら）に買いに行ったところ、asusのタブレット購入者にもれなくgoogle home mini プレゼントというpopが目に入りました。幸いasusのタブレットを購入予定だったため、このキャンペーンに乗ることにしました。

まあ昔だったら、こういうキャンペーンやって、対象商品買った客に対して、ちゃんとプレゼントについて説明したり、どの色がいいか聞いてきたりしたもんだと思

います。ところが今回、こちらからキャンペーンの話を持ち出さない限り、店員さんは一切説明してくれませんでした。それどころか「あ、こちらの商品はキャンペーン対象外ですね〜」とか、さりやといいやがる。ちょっとまで、あっちのポップにこれこれ円以上のタブレット購入者にプレゼントって書いてあるじゃんか、この商品こっだけ万円でプレゼント要件満たすだろうがよ、対象外ってどういうことだ、ちゃんと説明しろ、という意味の言葉をやんわりと伝えたところ、「あ、ちょっとお待ちくださいね〜」とか言って、店の奥の方に消えていった。なんかなー、俺が悪いみたいでちょっと気分悪くしましたが、まあこのご時世だから仕方ないかと。で、結局無事無料プレゼントされました。google 乙。

さて、そうして手に入れたgoogle home mini ですが、どこに置かかが問題

です。「ねえ google」と呼びかけると反応する、ということは、裏を返せば常にマイク入力をキャプチャしている状況であるはず。そのキャプチャしたデータを片っ端から破棄しているのか、適宜統計量だけをサーバに送っているのか、あるいはデータそのものをサーバに送っているのかは、エンドユーザー側からはわかりません。となると、部屋に置いておくと、その部屋でかわされた会話すべてがキャプチャされている可能性を否定できません。いや、してないとはいうけど、信用できるかどうかは微妙なところ。なにしろ有料版のカスタム検索エンジンサービスを平気で打ち切っという、無償版は継続しとくような会社ですし、google home を売らないAmazonに対し、Amazon Fire TV でyoutube を使えなくするような措置をとると平気で宣言するよな、とにかく「do the RIGHT thing」

One Point BUZZ WORD

アイシーエクスプレス

リコールの案内ですが、先月届きました。ディーラーと別件で何度か話をした後でしたが、まあ色々と並行で進んで、特に同期をとることなく動いていたのだと思います。そりゃまあ大量となると仕方ないでしょう。

リコールの検査については、今すぐ予約してなるべく早い時点で行うか、あるいは12ヶ月点検のタイミングまで伸ばすか、という選択肢がありました。ディーラーのご担当曰く、検査の大部分は12ヶ月点検とかぶるものがあるため、12ヶ月点検まで待てるのであれば、リコール点検費用である5万円程度については、お客様に還元することが可能です、とのこと。そう言われたら、ねえ。頂けるものについてはありがたく頂戴することにして、検査については12ヶ月点検にあわせることにしました。聞いてみると、定期検査にあわせるほうが多いとのこと。まあそりゃね、ディーラーがてんでご舞いになるのもユーザーとしてちょっと心

が痛いし、5万円相当だけ頂けるのであれば、そりゃ待てますわ。とりあえず今のところ特に問題となっていることはないです。5速もしくは6速で1000回転ぐらいで走ってる時にちょっとアクセル踏むと、1400回転もしくは1600回転あたりでカラカラカラカラ、という音がエンジンルームから聞こえてくる、のがちょっと気になってるだけです。どうも4速以下だと、カラカラ音はしないようですが。

一応念のためということで、先月頭にスタッドレスに切り替えました。2.0i sっぽさを出したかったので、ホイールも純正の星型にしちゃいました。これがないと、ぱっと見2.0iLと区別つかないですからね。まあヘッドライトとドアモールは違うのですが。

実際冬に使ってみると、やはりリアハッチ周りが暗くて、夜になると使いづらい感じがしました。というわけで、今度リアハッチライトをつけちゃう予定です。

な会社ですから。その慈悲溢れる心により、そこここの家庭内で繰り広げられる、ハートウォーミングな会話を逐一キャプチャして分析し、家庭内での交流分析の一助にしようとしているとしても驚きません。ちょうど gmail が巨大な口語データ收拾装置であったように。

というわけで、非日常的なユースケースということで、せっかくなので車載にしてみることにしました。幸い xv のぼんくらナビは音声認識機能がありませんから、google home mini とは相補的でしょう。また、幸い iijmio の SIM が一枚余っており、こいつを車載 wifi に転用すればちょうど良さそうです。

ここで問題となるのがルーター。理想的にはクルマの電源が入ってるときだけ稼働して、クルマを止めたら動作を終了して欲しいところですが、これがなかなか難しそうです。通常のルータはそもそも人間が使うことしか想定してませんから、明示的に電源を入れないと動きませんし、明示的に電源を切らないと電池の限り動作します。特に自動で電源が入るといった機能が難しいところじゃないでしょうか。

調べたところ、とりあえずネットギアの AC785 というモバイルルータがこの仕様を満たしており、かつバッテリーを接続せずに運用しているユーザーがいるとのこと。というわけで、この情報に賭けて、Amazon から AC785 を導入してみました。使えるのは microSIM ですが、幸い手元にあるのも microSIM だったので問題ありませんでした。SIM ホルダは簡易的なものなので、アダプタなどでサイズアップしている場合、きちんとフィットしていないと入らないかもしれません。

でもまあ接続してやってみたのですが、な

んかうまくつながりませんでした。ルータには液晶ディスプレイがついており、現在の SSID とパスワード、WAN 側の接続状態が表示されるのですが、WAN が接続されているという表示であるのに、wifi 側につながってる機材にはデータがながれてこず、タイムアウトになってしまいます。色々と設定を変えてみたのですがどうにもダメでした。仕方ないので初期不良交換をお願いしようとしたところ、Amazon 側では「メーカーに連絡取って RMA# もらえ」とのこと。RMA# は Return Merchandise Authorization number のことで、要するに返品対応の ID ですな。これがないと、Amazon としては動かざること山ののごしとのことでした。

仕方ないので、ネットギアにコンタクトしてみようとしたところ、今度はユーザー登録しないと相手してくれないとのこと。仕方ないのでユーザー登録して、電話かけて、やっとコンタクト取れました。なお、サポートはちょっと待たされましたが、きちんと対応してくれました。24 ではないのですが 365 でやってくれるようです。電話口で症状を伝えて相談したところ、電話口の向こうでも色々検討した結果、初期不良と思われるので交換する、という話になりました。担当者の名前と RMA# を控えて、その旨 Amazon に伝えると、やっと返品手続きが開示されました。しかも翌日に交換品が届くとのこと。急いで問題のルータを着払いにて送付し、翌日無事新しいルータが届き、こちらは問題なく通信できることを確認できました。こうじゃなきゃね。ルータは期待通り、USB の電源が入ると同時に起動して、WAN に接続し、wifi を有効化してくれます。バッテリーを抜いた状態で電源がおちると、そのままバースと落ちる

ようです。もちろんバッテリーが繋がってれば、バッテリーの寿命分稼働するようです。

さて、これでやっと車内 wifi が用意できたので、google home mini を接続してみました。セッティングには別途スマホが必要で、かつ google home mini とスマホが同じ wifi に接続している必要があるようです。ただ、デフォルトの音量設定が巨大なので、心臓の弱い方は注意が必要です。でもまあ、そもそも google home mini 自体はモバイル利用を一切考慮していません。なので、その所在地が移動することは想定していないようです。「ok グーグル、天気予報教えて」と問かけると答えてはくれるのですが、川越の自宅住所の天気しか教えてくれません。クルマで出かけているというのに。このあたりがちょっと何ではありますが、とりあえず車内で google home mini を使える環境はなんとか用意することができました。電源は xv に初めからついてくる、センターコンソール下の USB 電源を利用し、google home mini とルータをぶら下げます。そうするとスマホを充電することができなくなるため、アームレスト内のシガーソケットから電源を取ることにしました。

まあ google home mini が期待したよりはるかに使えないため、今のところ一人で乗ってても寂しくないぐらいの役にしか立ってませんが、このあたり改善されるのを待つべきか、アレクサに乗り換えるべきかを検討してる今日この頃です。今年もよろしく。

Hiroyasu Sakaguchi
(株) IMAGICA イメージワークス